

## 法改正に関わる日政連・日行連の関係役員合同会議開催

**日時** 平成24年5月10日(木)午後1時から3時

**場所** 渋谷道玄坂 フォーラム8 510会議室

**出席者** 北山会長、梅林・島岡・加崎・桑原・石川 各副会長、中西幹事長、山下(政)・山下(寛)・盛武 各常任幹事。日行連から副会長、専務理事、常任理事が出席された。



関係役員があつまり合同会議を開催

日政連・日行連では、政府の行政救済制度検討チームにおける平成23年12月の「取りまとめ」結果等を踏まえ、行政不服申立手続における不服申立ての代理権獲得に向けて継続的な対応を図っており、平成24年4月25・26日開催の日行連理事会において経緯・現況等が報告されるとともに、その後、要望書案を示し取り組みを推進することについて書面議決がなされ、可決承認された。

さらに、4月27日に開催された日政連幹事会においても議案審議の上、可決承認されるとともに、5月10日には、日政連・日行連より、関係役員が一堂に会し、「法改正に係る日政連・日行連正副会長及び関係役員合同会議」が開催され、今後の進め方等について協議が行われ、行政書士法改正に向けて一丸となって邁進することを確認した。

## 石田祝稔 公明党行政書士制度推進議員懇話会会長ご来訪

石田会長(衆・比例四国)が、5月9日(水)午後ご来訪。北山会長・中西幹事長と法改正について、また現下の政局等について熱心に意見を交わした。

日政連に石田公明党行政書士制度推進議員懇話会会長(左から2人目)がご来訪。右端から中西幹事長、北山会長。左端は小林日行連副会長。



## 日政連定期大会・日行連定時総会の「懇親会」ご招待状を手交

6月21日(木)日行連定時総会と6月22日(金)日政連定期大会の開催に合わせて、21日(木)午後6時から福井県福井市のフェニックス・プラザにおいて「懇親会」を開催する。そのご招待状を、各会派議員連盟(懇話会)の役員と主要議員にお届けし、ご出席をお願いした。今回は特に開催地福井県選出の民主党 高木 毅前文科副大臣、自民党 稲田朋美副幹事長等10名の議員には、地元での開催なのでご出席を強くお願いした。

## 自由民主党<sup>しすいかい</sup>「志帥会」の集い「強靱な国家の再生に向けて」

志帥会(会長:伊吹文明議員(衆・比例近畿))は、5月7日(月)午後4時30分よりホテルニューオータニで集いを開催した。講演会講師はTVでもお馴染みの東京大学名誉教授 月尾嘉男先生。「震災から一年・日本の再生」と題し、スクリーンに数々の震災写真を写しながら、東日本大震災について学者のお立場から現状報告と復興に向けての提言を力強く述べられていた。



「志帥会」の模様

なお、同会の所属議員には、二階俊博議員(衆・和歌山3区)、河村建夫議員(衆・山口3区)、谷 公一議員(衆・比例近畿<議連事務局次長>)、片山さつき議員(衆・比例近畿)等衆参合わせて12名がいる。

## 自由民主党「近未来政治研究会」と語る集い

近未来政治研究会(会長:山崎 拓前議員(衆・福岡2区))は、5月10日(木)午前11時からANAインターコンチネンタルホテル東京において集いを開催した。その際の講演会では、講師として前中国大使 宮本雄二氏が「台頭する中国とどう向き合うか」と題し、1時間あまり講演をされた。

なお、同研究会の所属議員には、野田 毅議員(衆・比例九州<議連会長>)、甘利 明議員(衆・比例南関東)、石原伸晃議員(衆・東京8区)、石田真敏議員(衆・比例近畿<議連事務局長>)等衆参15名の議員がいる。また、保岡興治前議員(衆・鹿児島1区<議連相談役>)も所属している。

## 北山孝次日政連・日行連会長×片山さつき参議院議員対談取材報告

去る5月2日、行政書士会館日行連応接室にて、今年3月に行政書士登録し、東京会に入会した片山さつき参議院議員と北山孝次日政連・日行連会長の対談が行われました（日本行政書士政治連盟・東京都行政書士会共催）。司会を務めたのは、中西豊日政連幹事長（東京会会長）です。

ちょうど大阪のお笑いタレントの生活保護受給問題がもちあがっていた最中の日程となり、会館に現れた片山さんは、携帯電話を片手に、厚生労働省の担当者と折衝を開始。慌ただしい出だしとなりましたが、互いの自己紹介から始まった対談は、1時間を超えて和やかに続けました。

テーマは、片山さんが行政書士に登録したきっかけから始まって、23年に及ぶ大蔵省・財務省でのキャリア、東日本大震災への取り組み、ADRや知的資産経営といった行政書士の新しい業務、ツイッターやフェイスブックの活用法、女性行政書士へのメッセージと多岐にわたり、前述の生活保護の問題では、

片山さんが掲げている「自立とセーフティネットのバランスをとる社会づくり」と絡めて、冷静かつ熱のこもった内容となりました。

「中小企業、特に零細企業向けのBCP（事業継続計画）のフォーマットを、行政書士会で作ってくれないか?」「これから地元の自治体にあつて大変苦労されている市長さんや町長さんに行政書士の活用を働きかけていきましょう!」「行政書士会のイベントを、私、ツイッターでこれから流しますよ!」と、片山さんから次々と繰り出される実行プランに、会長お二人はちょっとたじたじでしたが、今後、行政書士会側からどのような提案をしていけるかが問われることになりそうです。

さて、当日の気になる様子は、「東京会 YouTube チャンネル」で視聴可能ですので、皆様、ぜひご覧になってみてください。(http://www.youtube.com/watch?v=VdkEP7kEM4A)



左から中西日政連幹事長(東京会会長)、北山日政連・日行連会長、片山さん



中曽根元総理の額と一緒に

### < YouTube 番組収録内容 >

- ・行政書士登録のきっかけ
- ・行政書士のADR代理権獲得について
- ・知的資産経営について
- ・震災緊急対策PTについて
- ・自立とセーフティネットのバランスをとる社会づくり
- ・サッチャー元首相について
- ・女性行政書士にメッセージ
- ・広報活動の重要性について
- ・今後の抱負

(撮影、取材:東京会広報部 梶原恭子、益子光宣 協力:日政連事務局)